

広報・教育部門

じゅんかん育ちからコスメ ～ラベンダープロジェクト～

サレジアン国際学園世田谷中学高等学校、(株) 日水コン、(株) イオ、(株) サティス製薬

受賞事例の概要

下水道との接点がほとんどない高校生が、じゅんかん育ちのPR法に「コスメを作ろう」というアイデアを発案しました。その具体化に向け、生徒、教員、農園、コンサル、分析会社、製薬会社が力を合わせ、汚泥肥料で育てたラベンダーを用いてハンドクリームをつくりました。小さなものですが、じゅんかんモデルを具体化しました。



PRポイント！

- ・自然なかたちで若い人と下水道との繋がりが形成されることは、下水道の裾野を広げるのに重要であると考えました。
- ・世間の下水道を見る目は変わりつつありますが、未だ汚いものという先入観は残っています。コスメという若者が日常に使うなじみのあるモノと繋げることで、下水道への先入観を変えるきっかけにいきます！

取組の効果！

- ・高校生が普段関わることのない一般の方々と接し、様々な価値観に触れつつ、自分の意見を出して成果物（ハンドクリーム）に繋げたことは教育的観点からも貴重な経験だったと思います。
- ・今回のじゅんかんモデルを少しずつ大きくしていくことを目指し、ドラッグストアなどに生徒が交渉に出向いて店頭においてもらうなど、より多くの人々が手に取ることができるよう工夫していきます。

Key Person



サレジアン国際学園世田谷
中学高等学校教員 清水 真弓

苦労した点と打開策：ハンドクリームの処方決定に際して、個々の生徒の異なる感性を一つの製品にまとめるのに苦労しました。生徒が繰り返しディスカッションをして、大人に忖度せず何度も試作を繰り返し、製品に到達することができました。

継続性と外部への発信：この受賞をきっかけに、教育現場の特性を活かして先輩の思いを後輩へと受け継ぐことを目指します。また、HPや研究発表などで取組を校内外へと広げていくことに努めていきます。下水道のイメージアップに貢献し、じゅんかんモデルを少しずつ大きくしていきたいと考えています。